

# 区政のことが聞きたい

## 第2回定例会

### 一般質問(要旨)

\*詳しい内容は会議録をご覧ください。  
 会議録は、作成次第、区議会事務局、議会情報コーナー、区立図書館、行政情報コーナーに備えます。また、区議会ホームページでもご覧いただけます。

### としまの課題と危機の克服に向けて。

自民党豊島区議団

本橋 弘隆

地域福祉の再構築について

①施策展開の基本的方向は②地域密着型サービス施設の誘致について③施設数の設定は④進捗状況は⑤課題は⑥特別養護老人ホームの整備状況は⑦地域福祉の再構築は⑧本区西部地区へのコミュニティバスの早期導入をすべきと考えるが、①検討状況は②試行実験の実施は。

保健福祉部長

①区民との協働による地域の新たな支えあいの確立による②①地域的バランスを勘案し、設定する③整備できない状況④土地の取得が難しい点が挙げられる⑤計画までいっていないのが現状⑥地域包括支援センターの役割を検討する。



地域福祉の再構築は…

区長

④①調査を踏まえ、実現に向け、さらに検討を深めたい②導入検討の中に試行実験の実施についても加える。

20年度の予算執行への影響は②中小事業者への区独自の支援策は③子育て、教育への影響は。

政策経営部長

①影響は少ない。補正予算も視野に入れ、対応②業種別景況調査等を踏まえて検討③区立保育園の給食費や学校給食費に影響。食材費等が高騰を続けた場合、区独自の対策が必要と考える。

環境力

「環境力」による池袋副都心の再生について、①南池袋二丁目地区のAゾーンの都市計画手続と街づくりについて①手続の方策は②B、Cゾーンの街づくりの進め方は③環境とLRT構想について④環境モデル都市として位置付けた考えは⑤導入に向けた課題は⑥コミュニティバスとの同時推進は⑦東西デッキ構想の実現について⑧関係企業トップとの直接会談は⑨整備計画策定後の取組みは⑩都市再生緊急整備地域の検討状況は。

都市整備部長

①推進する姿勢を都に示すこと②地権者との対話を進める④合意が得られている状況。

区長

①人や環境にやさしい街づくり②区民の賛同を得ること③総合計画策定の中でコミュニティバスとの連携を検討④①必要なことと考えている⑤12月ごろにシンポジウムを開催予定

新庁舎整備について

①取り組む決意は②区民に向けた取り組みは③旧日出小地区の課題について④地権者の賛同状況は⑤権利変換計画に定める内容は⑥①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

### 人に優しい豊島区とするために

民主・区民

山口 菊子

新庁舎建設について

具体的課題が解決されれば、新庁舎建設の必要性や建設費用の問題から、日出小跡地以外には新庁舎の可能性は極めて低いと受け止めている。新庁舎整備の検討のまとめ「整備方針(案)」に基づき、旧日出小地区案について、いくつかの質問をする。

区長

①旧日出小地区が具体的な建設地であると判断しているのか②民間施設との合同庁舎という点で、セキュリティは確保できるのか③区役所と合築する分譲マンションの事業見直しは④分譲マンションや生活支援施設との区分所有上の問題は生じないのか⑤健康センター構想の具体的な内容は⑥事業の透明性の確保を⑦環境に配慮した、メンテナンスがしやすいような規格品を主体とした建設をすべき。

区長

①他に早期実現可能な具体的な建設地はないと考えるが、区民の意見を聞いた上で最終判断をする②動線を完全に分離して確保③住宅デベロッパー等が分譲することになるので、組合の事業には影響が出ない④あらゆることを想定し、管理規約をつくる⑤21年度からの地域保健福祉計画の中で検討している⑥再開発組合員の一員としてもリーダーシップを発揮し、取

り組む⑦環境負荷を低減できる耐久性の高い建築資材や再利用資材等を選択する。



広報としま(新庁舎整備方針(案)特集号)

職員のあるべき姿と研修について、①職員が地域を実体験する機会がなくなった状況をどうするかが課題である。

教育長

④性的な発達に伴う不安や悩みへの対応で、養護教諭等が指導や相談を行うなどの実態がある⑤これで十分というのではなく、今後も理解を深め、指導・相談等に活用していく⑥都ではこの冊子を保護者に配布することは想定しておらず、今後は、この冊子を活用し、保護者への啓発を図っていく。

区長

①なくならないが、減っているのは事実。機会を意図的に設ける工夫を検討していく②新たな役割の中で必要な人材は採用していく③今後、積極的に検討していく④今後も積極的に推進していく。

性的マイノリティに関する課題について

①性的マイノリティに関する課題について、①性的マイノリティについての認識は②差別や偏見についての把握とその取組みは③職員への研修は④学校現場での取組みとその実態について把握しているのか⑤養護教諭や教職員、スクールカウンセラーの知識は十分か⑥入学式や保護者会などで「みんなの権利」を配布しては⑦当事者のイベントに、人権教育や啓発事業のための学びの場として関わる

区長

①最大のメリットは財政上の効果。デメリットは、区だけで事業を進められないことと、土地建物が区分所有となり詳細な管理規約が必要となること②地域冷暖房の活用、太陽光発電、

ことや、支援することもよいのでは。

一人暮らし高齢者の割合が高い本区は、人と人のつながりを深め、安心して暮らし続けられるまちにするため、社会福祉協議会を中心に、コミュニティソーシャルワーカーの配置・活用を図り、より細かく進めては。

総務部長

①人間の多様な性のあり方について理解を深め、対策を講じるべき人権問題であると認識②把握はできていない。相談体制を整え、必要な対策を講じていく③人権問題の一つとして取り上げている⑦イベントへの職員の参加など、今後検討してみたい。

教育長

④性的な発達に伴う不安や悩みへの対応で、養護教諭等が指導や相談を行うなどの実態がある⑤これで十分というのではなく、今後も理解を深め、指導・相談等に活用していく⑥都ではこの冊子を保護者に配布することは想定しておらず、今後は、この冊子を活用し、保護者への啓発を図っていく。

区長

①最大のメリットは財政上の効果。デメリットは、区だけで事業を進められないことと、土地建物が区分所有となり詳細な管理規約が必要となること②地域冷暖房の活用、太陽光発電、

区長

①最大のメリットは財政上の効果。デメリットは、区だけで事業を進められないことと、土地建物が区分所有となり詳細な管理規約が必要となること②地域冷暖房の活用、太陽光発電、

雨水利用等で日本一の環境モデル庁舎としたい。

### 人を元気にするまちづくり

公明党

此島 澄子

新庁舎整備について

①南池袋地区市街地再開発事業(日出小跡地)で整備するメリット・デメリットは②計画イメージには、全国でも飛び抜けたレベルの緑化庁舎が表現されているが、他の環境対策は。

区長

①最大のメリットは財政上の効果。デメリットは、区だけで事業を進められないことと、土地建物が区分所有となり詳細な管理規約が必要となること②地域冷暖房の活用、太陽光発電、

各主体が一体となって取り組めるよう、具体的な行動を促す②区民生活に根ざした環境配慮行動を促進する仕組みを早急に実現したい③諸条件の整備に努め、できるだけ早期に実現したい。

健康担当部長

①広報や個別通知等、受診率向上・受診勧奨策を講じ、基準をクリアできるように最大限努力する②早急に作成し、区施設などで配布③内容を充実させ、積極的にPRする。

池袋保健所長

④今後、ホームページ掲載や保健所を含めた相談機関の周知に努める⑤役割を担えるようホームページの充実と情報提供に努め、信頼のかけがえのない医療・健康相談、医療の最新情報を提供するサイトの案内も行う⑥積極的に検討する。

区民部長

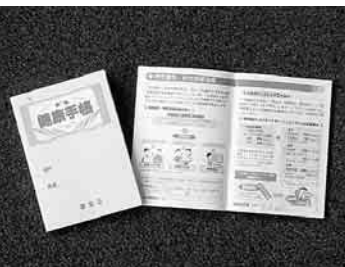
①低所得者・年金生活者や自治体に配慮した案と評価②納付書持参の手間を省く、徴収に係る経費の軽減等、様々な長所を持つと評価。一定の要件があるが、口座振替も可能となった③現役世代の保険料負担が増え続け、最終的に区市町村国保が財政的な窮地に陥る。

健康施策について

①「特定健康診査・特定保健指導」が始まったが、健診受診率を上げるための取組みは②区民に医療情報のすべてが一目でわかるような「豊島区健康診査のご案内・保存版」を作成しては③区では毎年「健康手帳」を配布しているが、さらなる内容の充実と周知を④思春期にある若者が、誰にも相談できない心や身体の悩みを相談できる、電話相談も含めた思春期外来の設置を⑤思春期や更年期の境に「のぼせや胸部の痛み、冷え性、肩こり、腹痛」などを訴える若い女性が多く、健康や仕事、人間関係等様々な悩みがあっても安心して相談できる場所がなく、一人で見受けられる。気軽に相談でき、解決に向けて道案内をしてくれる「女性総合カウンセリング

清掃環境部長

①環境基本計画にCO<sub>2</sub>削減目標を盛り込み、



健康手帳

就労支援について

①あらゆる人が活かされる社会を目指し、国の立ち上げた「生活安心プロジェクト」を大いに活用する必要がある。本区の入札総合評価方式に、障害者や高齢者の雇用を推進する会社をプラス評価する仕組みの検討状況は②新庁舎や今後建設される施設に特例子会社を誘致して、障害者雇用の拡大を。

保健福祉部長

①地域貢献度を評価項目に加える方向で検討中②新庁舎等の整備時において、



### 行政主導の民間大型開発をやめ、暮らし優先の住み続けられる豊島区に

日本共産党

小林 ひろみ

「新庁舎の上に分譲マンションを建てる」「LRTは東口・西口・雑司が谷回遊線を含む3ルート」池袋副都心の都市づくりに戦略・グランドビジョンなど、新事業が次々と発表されている。予算審査など議会での議論を無視し、区民にまったく説明をしないまま、事実上の行政計画として進める独断専行的な行政運営は改めるべき。

「新たな示した事業は提案にとどまるものであり、今後意見を十分にいただきながら、事業化に向け、議論を進めていく。」

「新区庁舎建設について、(1)事実上旧日出小地区室に一本化したことを撤回すべき(2)建物管理等の問題が多く、区庁舎という施設となじまない民間分譲マンションとの合築はやめ、豊島区単独の建物とすべき(3)総事業費や計算根拠、準備組合の検討状況等は情報公開せよ。また、資金計画がうまくいかなかったときは誰がどう責任を取るのか(4)旧日出小地区室は、経済情勢等で変化する不安定な資金計画など、問題点が多くあり、庁舎建設にふさわしいやり方ではない。区民合意を得るために時間をかけ、必要な資金計画・建設計画を立て、「身の丈にあった」区庁舎建設とするべき。

「(1)撤回する考えはない(2)住宅等との複合建物計画の方が窓口サービス向上、資金計画実現性の点で優れている(3)総事業費等は21年度後半に示せる予定。情報公開は個別具体的に判断する。再開発事業は資金計画が確定しない限り着工しない仕組みであり、他の方法よりはリスクが少ない手法と考える(4)先延ばしは区財政に大きな負担を強いる。災害時拠点やサービス向上等、新庁舎整備案は区民の理解はいただけないと考えている。安心して介護を受けられる豊島区にするために、(1)現在の介護現場で働く人たちの状況への認識は。また、国に対して早急に改善を求めるべき。

「(1)撤回する考えはない(2)住宅等との複合建物計画の方が窓口サービス向上、資金計画実現性の点で優れている(3)総事業費等は21年度後半に示せる予定。情報公開は個別具体的に判断する。再開発事業は資金計画が確定しない限り着工しない仕組みであり、他の方法よりはリスクが少ない手法と考える(4)先延ばしは区財政に大きな負担を強いる。災害時拠点やサービス向上等、新庁舎整備案は区民の理解はいただけないと考えている。安心して介護を受けられる豊島区にするために、(1)現在の介護現場で働く人たちの状況への認識は。また、国に対して早急に改善を求めるべき。」

「その後の検討状況は。区民需要にこたえるため、直ちに具体的な計画を明らかにすべき。民間団体から特養ホーム整備の相談があったが、具体化には至らなかった。計画の具体化に向け、今後も努力する。」

「(1)ヘルパー資格取得等への補助を実施すべき(2)有給での採用時研修の保障、財政支援を(3)介護職員の住宅費一部助成を実施すべき(4)特養ホーム運営費の補助を再開すべき。」

「(1)補助する考えはない(2)支援を検討(3)実施は考えていない(4)助成を前向きに検討。」

「(3)介護保険料の減額制度が創設され条件の一部緩和もされたが、「保険料が高すぎる」との声が根強い。基金や一般財源を使い、保険料を引き下げるべき。」

「できる限り保険料の上昇を抑えるとともに、保険料率等の見直しも検討したい。」

「(4)介護保険外で、高齢者の生活実態に合わせたホームヘルプサービスを実施すべき。」

「区独自のホームヘルプサービスは考えていない。」

「(5)特養ホームの待機者は1千人を超え、増設は待ったなしの課題。民間を誘致するという。」



特別養護老人ホーム菊かおる園

### 図書館が取り組むべき課題(①Web図書館②学校図書館のデータベース構築)

豊島無所属

日野 克彰

「昨年11月、千代田図書館が公共図書館初のWeb図書館サービスを導入した。豊島区でもこのサービスを導入すべきである。これは、インターネット上で「電子図書」の貸出・返却を行うもので、そのメリットは、①来館せずにいつでも利用可能②管理の手間なく蔵書を増やせる③パソコン上で読むので拡大・音声化などの加工が可能など、高齢者・障がい者等の使い勝手が向上、などである。」

「本区図書館が目指す将来ビジョンを踏まえて、様々な角度から導入を検討する。」



Web図書館の導入を

「学校図書のデータベース構築は、従来の学校任せではなく、図書館課が主導して行うべき。図書館担当部長 実現に向けた課題などを確認し、教育指導課等と十分に協議して方針を決定する。」

### 「人と環境にやさしいまち、安心・安全な美しいまち豊島区」を目指して

刷新の会

古坊 知生

「環境施策について、(1)豊島区環境基本計画の目指す点は(2)小中学校での環境教育の現状は(3)荒川線との連携で大塚駅・庚申塚へLRTを走らせる構想の検討を(4)屋上緑化助成事業について、現在の制度の活用状況はまた、補助率アップの検討を。」

「(1)環境配慮行動へ積極的に取り組みめる具体性を持った計画を目指す(3)検討を継続する。」

「(2)理科等の学習、緑のカーテン等の実践教育等を実施。土木部長 (4)5年間で44件。補助率は本年度改定したため、当面、整備の進捗を見守りたい。」

「南大塚地域文化創造館・南大塚ホールに、アクセスがしやすいエレベーター設置等の検討を。」

「文化商工部長 検討していく。」



南大塚地域文化創造館

### 区民に信頼を得る行政運営を目指して

自民党豊島区議団

堀 宏道

「自転車施策について、(1)放置自転車対策について①駐輪場を十分すぎるくらい確保すること②これまでの整備目標の再検討と、大胆な変革③放置自転車の海外譲渡に関する今後の取り組み④駐輪場対策について①整備計画で掲げる目標数値の算出根拠は②東京都や鉄道事業者の土地活用による、土地の有効利用は③東武東上線の放置自転車の状況及び駐輪場の設置台数は④設置コスト、ランニングコストへの見解は⑤池袋西口再開発における、駅前への大規模駐輪場施設の建設は⑥住み続けたい街、住んでみたい街、文化と品格を誇る街への課題としての駐輪場整備は③自転車道整備について①自転車道整備の周知徹底の提案に対する区の見解は②車道への自転車道の設置は④環境という観点での自転車施策について①環境モデル都市の実現に、自転車の有効活用案及びカーシェアリングの導入は②コミュニティ・サイクル・システム導入への都への積極的な働きかけは③環境負荷の低減、低炭素社会の実現のための「自転車」とは、真和跡地利用における解体と新築に要する13億円の経費について、今後の計画への教訓とする(3)新築校舎の耐用年数の想定は(4)環境モデル都市にふさわしい学校改築のあり方は。」

「(1)22年度当初に工事に着手できるように関係機関と調整②文京区と連携し検討する。」

「(1)総合計画に基づき、駐輪場の整備を確実に推進する②22年度に総合計画の中間見直しを予定。必要に応じて整備計画を変更③今後も、途上国で暮らす人々の福祉向上に、大きく貢献できる支援事業として継続①放置禁止区域が指定されている区域では放置台数分、指定していない駅周辺では、最大放置自転車数の6割程度が基本②鉄道事業者の敷地での整備を最優先に、立体的な土地利用も検討する③放置自転車数は300台程度まで減少。駐輪場は今後300台を整備する④特定財源を確保し、一般財源の負担軽減を図る。概ね、利用料金で賄っており、現状の金額がほぼ適正⑤実現に向けて努力する⑥利用者の立場に立った利用しやすい駐輪場の整備を推進する③①マナー向上を図る啓発活動、自転車安全利用教室等の実施や改正道路交通法の施行内容の周知に努める②一定の幅員が求められることから、車道内の整備は難しい。既存路線の歩道部分の車道側に設置していく④周辺区を含め、東京都レベルでの検討が必要。関係部署と調整していく。」

「(4)自転車活用は、アクションプランに取り入れられ検討。カーシェアリングは、手法等を調査・検討したい③環境にやさしい交通手段である自転車の活用は、環境基本計画にもその方向性を示し、低炭素社会の実現に向けて取り組む。」

「(1)環境モデル都市の実現に、自転車の有効活用案及びカーシェアリングの導入は②コミュニティ・サイクル・システム導入への都への積極的な働きかけは③環境負荷の低減、低炭素社会の実現のための「自転車」とは、真和跡地利用における解体と新築に要する13億円の経費について、今後の計画への教訓とする(3)新築校舎の耐用年数の想定は(4)環境モデル都市にふさわしい学校改築のあり方は。」

「西池袋中改築経費への見解は(2)真和跡地利用における解体と新築に要する13億円の経費について、今後の計画への教訓とする(3)新築校舎の耐用年数の想定は(4)環境モデル都市にふさわしい学校改築のあり方は。」

「(1)補助17号線開通時に改めて改築。大規模改修に規模を縮小した(2)小・中・共用の仮校舎建設のための経費。今回の経験をもとに100年近く耐えうることを想定し、検討する(4)低炭素社会対応型の公共施設整備のあり方の中で検討する。」

「防災対策について、(1)区民以外の方の避難所の想定は(2)立教大学の受入体制は(3)区が主導権を握った避難所整備の推進は(4)区内6大学との連携による協力体制は。」

「(1)具体的な検討に入っていない(2)どのように活用するか早急に検討(3)どのような対応を図るか、十分に議論を尽くしたい(4)区内5大学と防災協定を締結。各大学の特色を生かした実効性の高い協力体制を築く。」

「(1)不登校対策について、(1)19年度の不登校児童・生徒数は、小学校10人、中学校77人となっており、その後の指導などで改善された数は、小学校では6割だが、中学校では2割にとどまっている。この数値についての所見は(2)どこにも相談せず登校に至らない児童・生徒のその後は(3)スクールソーシャルワーカーの導入を検討しては(4)公共施設を提供し、NPO・民間企業・大学・地域・施設が連携してつくるフリースクールなどを検討しては。」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

未来を担う子ども達の健やかな成長を願って 民主・区民 和賀井 哲代

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

「(1)改善率については、登校には至らないものの好ましい変化が見られたという児童・生徒を含めると、小学校で7割、中学校で5割になる(2)中学校卒業を機に8割・9割の生徒は進学や就職をしているが、数名の生徒は、保護者の仕事や家事の手伝いをしながら進路を模索したりしている(3)問題を抱える子ども等の自立支援事業の中で、教員の負担軽減も含め、スクールカウンセラーとの役割の明確化など、課題について研究して」

いく(4)教育委員会が主管する適応指導教室との性格上の違いや運営方法等の問題など、十分に研究すべき課題である。



不登校対策は...

### 子どもから高齢者まで大切にされる区政へ

日本共産党 儀武 さとる

問 後期高齢者医療制度について、(1)75才以上の高齢者を強制的に囲いこみ、負担増と医療差別を押し付ける本制度は廃止する以外に解決策はない。きつぱりと反対を表明すべき(2)75才以上の高齢者は圧倒的多数が低所得者。東京都の減額制度だけでは不十分。ただちに区独自の保険料の減免制度を創設すべき(3)千葉市浦安市と同様に、後期高齢者の保険料軽減のための助成として、年1万円の「臨時給付金」を実施せよ(4)保険料滞納者から保険証を取り上げ、資格証を発行するのは、憲法で保障された生存権の侵害につながりかねない重大な問題であり、ただちにやめるべき(5)保険料滞納者に対する罰則規定は、ただちに撤回すべき。



巣鴨駅北口白山通り駐輪場

問 都バス東鴨営業所の改築計画とまちづくりについて、東京都交通局が2008年度に同営業所改築の基本設定を行うにあたって、公衆トイレの設置と、400台の自転車駐輪場実現のため、区長が積極的に東京都へ働きかけるよう、要望する。また、歩行者の安全を考慮し、白山通り駐輪場の撤去は考えていない。駐輪場は、今後交通局から提供を受ける敷地の中で1台でも多く駐輪可能な再整備ができるよう検討していく。トイレ設置等の要望は、交通局の土地利用計画の推移を見守りながら検討。

## 委員会の主な動き

### 豊島区図書館の豊島区教育委員会での定置を求める陳情は継続審査に

#### 総務委員会

●「郵政民営化見直し」に関する陳情は、「今後の完全民営化に向けた議論を見守るという点では、早急に採決という結論には至らない。継続」と「サービス低下の問題を調査し、関係機関に見直しを求める陳情であり、採決に」との意見に分かれ、採決の結果、継続審査とすることとした。

●「豊島区民の食の安全確保のため、膨大な放射能を放出する「六ヶ所再処理工場」稼働中止と閉鎖を求める意見書提出に関する陳情」は、「書いてあることすべてが実際にそうであるとは断言できない。今、結論を出すのではなく、もう少し議論を深めたい。継続」と「豊島区は

環境に本腰を入れて頑張っている。世界でも環境、環境と言われている中で、100%大丈夫という見解が出せないまま、工場が稼働に進んでいる。今こそ止めなければならぬ。採決に」との意見に分かれ、採決の結果、継続審査とすることとした。

●「豊島区図書館の豊島区教育委員会での定置を求める陳情」は、「もう少し経過を見守り、区長部局の努力を見極めたい。継続」と「やるべきは、区長部局に移すことではなく、区民の要求に応えられるように図書館を充実させることであり、教育委員会に戻すべき。採決に」との意見に分かれ、採決の結果、継続審査とすることとした。

●「JR大塚駅自由通路完成に続く南北駅前広場等の再整備に関する陳情」は、現地視察を行い、審査しました。審査では、「区として目に見える形で、向かうべきビジョン等を示していくべき。採決に」との意見から、全会一致で採決することとし、意見書及び要望書(要旨は1面)を提出することとした。

●「可燃ごみの清掃工場で不燃ごみを燃やすことについての陳情」と「豊島清掃工場での廃プラスチック・皮・ゴム焼却の延期・見直しについての陳情」は、「民間の建築紛争の調停も不調に終わり、建築主の動きを見守るべき。継続」と「区として、法的な指導は行えないとしても、建築主への申入れは行うべき。採決に」との意見に分かれ、採決の結果、採決とすることとした。

●「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

●「過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不健全な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情」は、「適法かどうか判断する区部署も議論する材料もない。不採択に」との意見から、全会一致で不採択とすることとした。

●「介護労働者の人材確保に関する陳情」は、「都の緊急提言等の推移を見守りたい」「労働条件の改善・向上は必要、意見書提出を」「千代田区と同様の支援は、区の財政状況では難しい」との意見に分かれ、採決

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

●「医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める陳情」は、「国の対応の推移を見守りたい。継続」と「医師

### JR大塚駅自由通路完成に続く南北駅前広場等の再整備に関する陳情は採決に

#### 都市整備委員会

●「JR大塚駅自由通路完成に続く南北駅前広場等の再整備に関する陳情」は、現地視察を行い、審査しました。審査では、「区として目に見える形で、向かうべきビジョン等を示していくべき。採決に」との意見から、全会一致で採決することとし、意見書及び要望書(要旨は1面)を提出することとした。

●「可燃ごみの清掃工場で不燃ごみを燃やすことについての陳情」と「豊島清掃工場での廃プラスチック・皮・ゴム焼却の延期・見直しについての陳情」を一括して審査しました。審査では、「区民の不安を取り除く努力や産業界への働きかけを今後

も続けるべき。継続」と「資源回収や地球環境の観点から、区民の声を行政に生かすべき。採決に」との意見に分かれ、採決の結果、継続審査とすることとした。

●「双日(株)による目白マンション建設計画に関する交通安全についての陳情」は、現地視察を行い、審査しました。審査では、「民間の建築紛争の調停も不調に終わり、建築主の動きを見守るべき。継続」と「区として、法的な指導は行えないとしても、建築主への申入れは行うべき。採決に」との意見に分かれ、採決の結果、採決とすることとした。

●「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

●「過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不健全な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情」は、「適法かどうか判断する区部署も議論する材料もない。不採択に」との意見から、全会一致で不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

の結果、「介護労働者の人材確保についての請願」と「福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情」の2件は継続審査に、「介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情」は「不採択とすることとした。

### ■本会議で意見が分かれた請願・陳情

件名	結果	等 派 会						
		刷新の会	行革一〇番	豊島無所属	日本共産党	公明党	民主・区民	自民党豊島区議団
介護労働者の早期人材確保を充実するための陳情	不採択	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成
双日(株)による目白マンション建設計画に関する交通安全についての陳情	採択	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成
「郵政民営化見直し」に関する陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
豊島区民の食の安全確保のため、膨大な放射能を放出する「六ヶ所再処理工場」稼働中止と閉鎖を求める意見書提出に関する陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
豊島区図書館の豊島区教育委員会での定置を求める陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
介護労働者の人材確保についての請願	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
可燃ごみの清掃工場での不燃ごみを燃やすことについての陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
豊島清掃工場での廃プラスチック・皮・ゴム焼却の延期・見直しについての陳情	継続審査	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成

## 請願・陳情の審議結果

### 採択としたもの

2件

### 都市整備委員会付託分

●JR大塚駅自由通路完成に続く南北駅前広場等の再整備に関する請願  
●双日(株)による目白マンション建設計画に関する交通安全についての陳情

### 不採択としたもの

2件

### 区民厚生委員会付託分

●介護労働者の早期人材確保を充実するための請願  
●過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不健全な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情

### 継続審査としたもの

33件

### 総務委員会付託分

●「郵政民営化見直し」に関する陳情  
●豊島区民の食の安全確保のため、膨大な放射能を放出する「六ヶ所再処理工場」稼働中止と閉鎖を求める意見書提出に関する陳情  
●豊島区図書館の豊島区教育委員会での定置を求める陳情

### 区民厚生委員会付託分

●介護労働者の人材確保についての請願  
●福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める陳情  
●医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を求める陳情

### 都市整備委員会付託分

●可燃ごみの清掃工場での不燃ごみを燃やすことについての陳情  
●豊島清掃工場での廃プラスチック・皮・ゴム焼却の延期・見直しについての陳情